

## Book review

ブックレビュー

## 『イエスは助けてくれますか』

闘いの中にいるあなたへ

ワルデマール・キッペス著

イエス・キリストへの信仰・信仰が人生の道しるべだと言ふ著者。本書には、2008年から2012年

までの、5年間の著者の信仰の歩みが部分的に描かれている。

この5年の間にさまざまな出来事があった。08年のミャンマーでの大型サイクロン、中国・四川省で発生した巨大地震、09年の新型インフルエンザの流行、10年のハイチでの大地震など。その都度著者は、「なぜこうして」と問い続けてきた。

そして11年3月11日の東日本大震災を経て、「創造主なる神は、一つの可能性として震災が起こることを創

造しても、いつどのように実際に実現されるかは決定していない」と信じるように至ったと言ふ。

1956年に来日してから55年の間、「原子力についてほとんど頭によることはなかった」と反省し、「信仰

が、『何の問題もない平和な世界を生きていける』という妄想を生むきっかけにならないように注意したい」と自戒する姿からは、『世の光』になる一つの道は、今を意識し正直に生きることである」という著者の決意が伝わっている。

著者はNPO法人臨床パストラル教育研究センターの理事長であり、がんを患った人々との間に交わさ

神にまかす 臨床パストラル教育研究センター 理事長

ワルデマール・キッペス

## イエスは助けてくれますか

闘いの中にいるあなたへ

弓箭書院



弓箭書院

B6判

218頁

本体1800円

れた具体的なエピソードも随所に紹介されている。「生きることは、現実とぶつかりながら進み、歩むこと」。人生の問題はマニュアル通りに解決することはできない。

同様に、「闘いの中にいる」読者は、本書から安易に答えを得ることを期待してはならない。本書をきっかけに、読者自身が状況を变えていくのである。「行動

が伴う信仰には状況を変えらる力がある。それはまず自分自身の中の体験から始まる。自分が少しでも善い方に変わるならば、世の中は同時に変化したことになる。」